

業務委託見積システム

*for Windows*

Ver 1. x. x

## システム導入ガイド



<b>1. 処理を始める前に</b> .....	1
1-1. ライセンス認証について .....	1
1-2. 導入の流れ .....	1
<b>2. プロテクトドライバのインストール</b> .....	2
2-1. ドライバインストーラの起動方法 .....	2
2-2. ドライバのインストール .....	2
2-3. ハードウェアプロテクタの接続 .....	4
<b>3. 業務委託見積システムのインストール</b> .....	5
3-1. 業務委託見積システムのインストール .....	5
3-2. 業務委託見積システムデータベースのインストール .....	7
3-3. .NET FRAMEWORK 2.0のインストール .....	8
<b>4. ライセンス認証情報の設定</b> .....	10
4-1. システムの起動 .....	10
4-2. ライセンス認証情報の設定 .....	10
<b>5. ユーザ情報の登録</b> .....	11
5-1. 仮ログイン .....	11
5-2. ユーザマスタにID登録 .....	12
5-3. ユーザID切替 .....	13



# 1. 処理を始める前に

## 1-1. ライセンス認証について

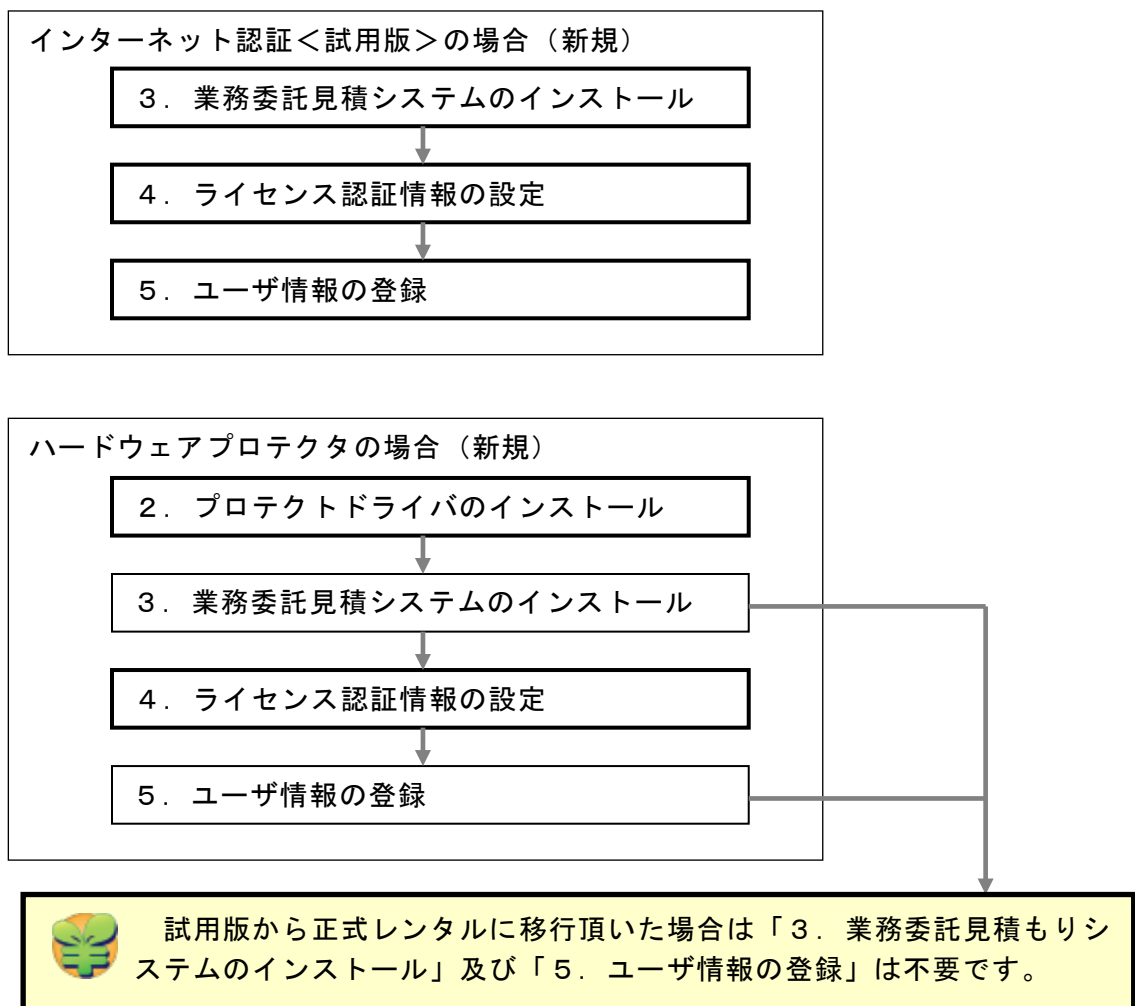
「業務委託見積りシステムfor Windows」をご利用頂くためには、ライセンスの認証をして頂く必要があります。認証方法にはインターネット経由でのソフトウェア認証とハードウェアプロテクタを使用するハードウェア認証の2種類があり、ご契約段階によって異なります。以下の通り、その時点での認証方法に従ってパソコンの設定をして頂く必要があります。

認証方法 契約段階	インターネット認証	ハードウェアプロテクタ認証 (スタンドアロン認証)
試用版	○	△※1
正式レンタル契約	×※2	○

※1 ご希望によりハードウェアプロテクタをお貸し出しすることも可能です。

※2 正式レンタル契約を頂いた場合は、全てハードウェアプロテクタ認証になります。事前に試用版でインターネット認証をして頂いていた場合でも、ハードウェアプロテクタ認証に切り替えて頂く必要があります。

## 1-2. 導入の流れ



## 2. プロテクトドライバのインストール



ドライバのインストールを行う前に USBプロテクトキー (Sentinel SuperPro) をパソコン本体に取り付けずに下さい。  
インストール作業は、Windowsの管理者権限のあるユーザでログインしてから行って下さい。

### 2-1. ドライバインストールの起動方法

業務委託見積システムCDをCDドライブにセットすると自動的にCDメニューが起動します。



パソコンの設定によっては自動起動しない場合があります。その場合はマイコンピュータなどからCD内の「Autorun.exe」を起動して下さい。

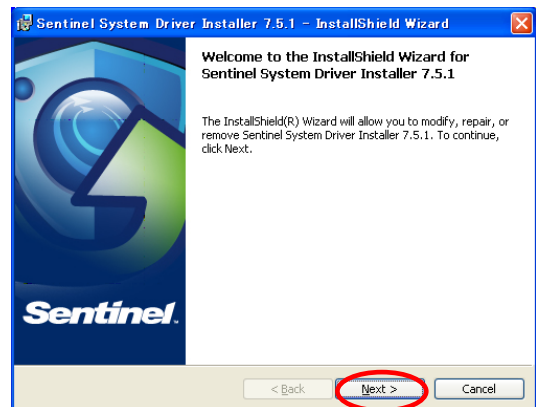
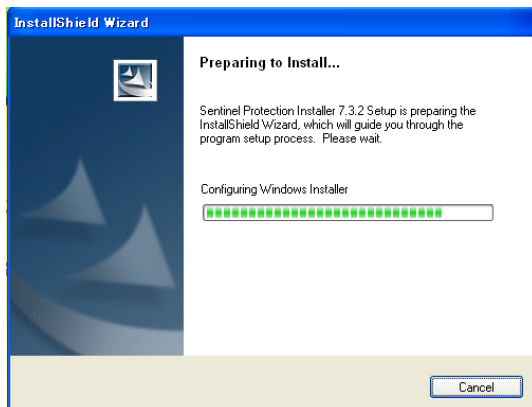
CDメニューの《スタンドアロン用プロテクトツール》の「ドライバ (VerX.X.X)」をクリックして下さい。インストールプログラムが起動します。

※ ドライバを弊社ホームページからダウンロードする場合は、以下のページにある「ドライバ最新バージョン (X.X.X)」を右クリックして「対象をファイルに保存」で、一旦お使いのパソコンに保存して頂き、保存したSETUP.EXEを実行して下さい。

<http://www.aec-soft.co.jp/public/e02/Prog.htm>

### 2-2. ドライバのインストール

インストールウィザードが起動し、導入画面が起動します。Next>をクリックします。



既に弊社のソフトをご利用で最新のプロテクトドライバがインストールされている場合

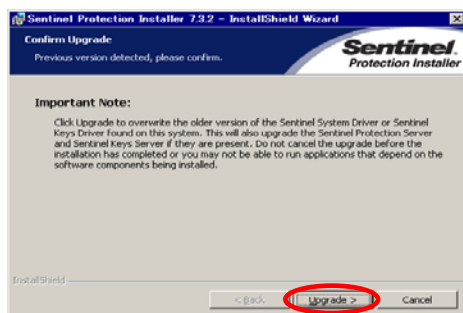


左記の画面になります。この場合は以降の処理は不要です。[Cancel]して下さい。



3. 業務委託見積システムのインストールに進んで下さい。

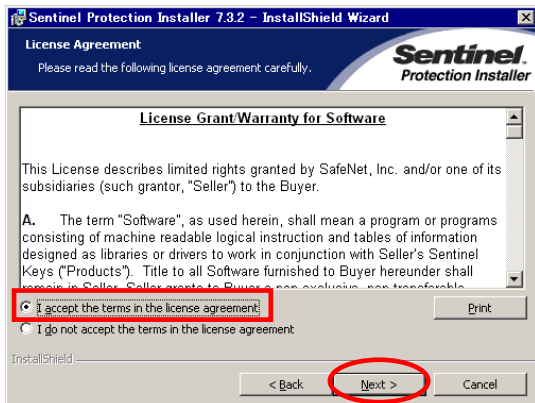
セットアップ・プログラムが旧バージョンのSentinel System Driverを認識した場合



先述の導入画面の前に以下のアップグレードを確認する画面が表示されます。

Upgrade>をクリックします。

次のようなダイアログが表示されますので、I accept~(同意)を選択して進んで下さい。



I accept~(同意)を選択し、Next>をクリックします

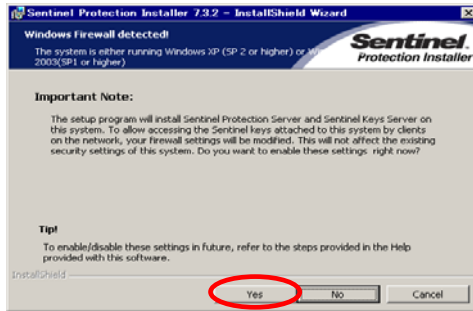


Completeを選択しNext>をクリックします。



Install を選択すると開始します。

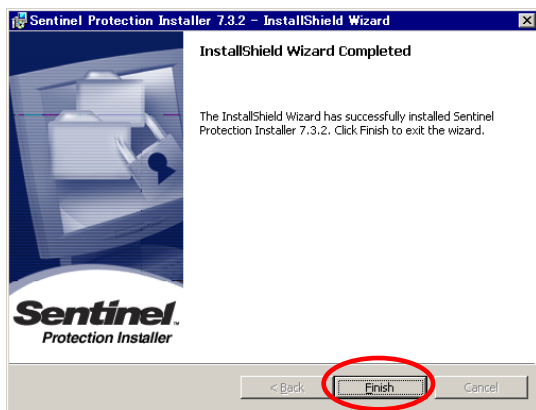
## Windowsファイアウォールが動作している場合



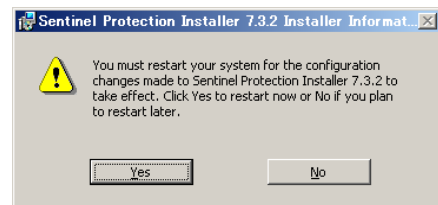
ここではYesを選択します。

Windowsファイアウォールの環境では以下の画面が表示されます。

Sentinel Protection Serverサービスを動作させるため、ファイアウォールの例外リストの設定を行うものです。



インストールが完了すると上記の画面が表示されます。Finishをクリックしてウィザードを終了して下さい。



再起動のメッセージが表示される場合は、YesをクリックしてWindowsが再起動します。

## 2-3. ハードウェアプロテクタの接続

### 《注意事項》



ハードウェアプロテクタをパソコン本体に接続する前に、必ずプロテクトドライバを先にインストールして下さい。

USBプロテクトキー (Sentinel SuperPro) をパソコン本体へ取り付けて下さい。

※ ドライバのインストールを行わずにハードウェアプロテクタを取り付けてしまった場合は、ハードウェアプロテクタをパソコン本体から外し、一旦、ドライバソフトのアンインストールを行って、再度ドライバのインストールからやり直して下さい。



### 3. 業務委託見積システムのインストール

#### 3-1. 業務委託見積システムのインストール



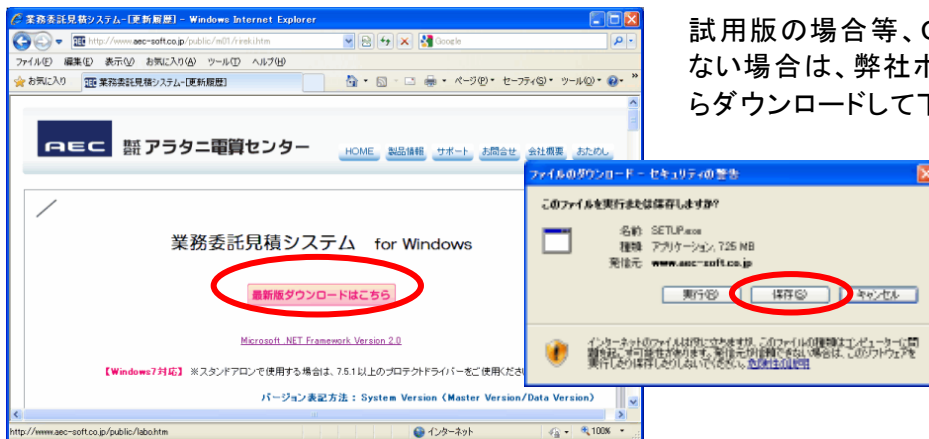
試用版から正式レンタルに移行して頂いたお客様  
既に試用版を使用中で継続してお使いになる場合は不要です。  
4. ライセンス認証情報の設定 へお進み下さい。

<製品CDがお手元にある場合>



製品CDをパソコンにセットして、起動したCDメニューから「システムのインストール」をクリックすると、業務委託見積システムのインストールを開始します。

<製品CDがお手元にない場合（試用版の場合）>



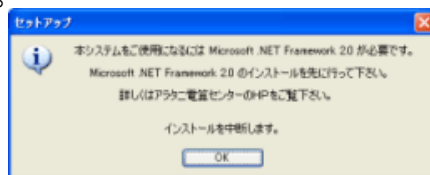
試用版の場合等、CDがお手元にない場合は、弊社ホームページからダウンロードして下さい。

<http://www.aec-soft.co.jp/public/m01/rireki.htm>

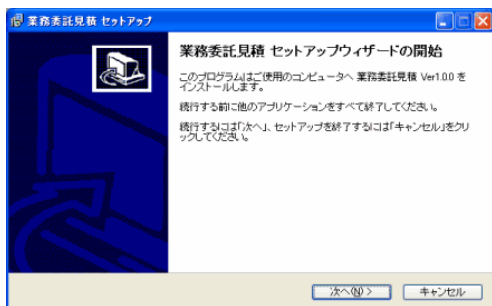
- ① 上記ページにある「最新版ダウンロードはこちら」をクリックし、SETUP.EXEをご使用のパソコンの任意の場所に保存して下さい。
- ② 保存したSETUP.EXEを実行して下さい。

.NET Framework2.0がインストールされていない場合（WindowsXP）

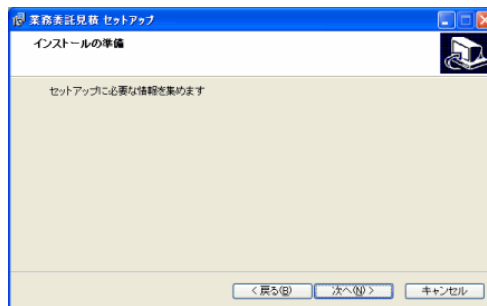
お使いのパソコンに.NET Framework2.0がインストールされていない場合、上記の起動方法にかかわらず、以下のようなメッセージが表示されインストールを実行出来ません。



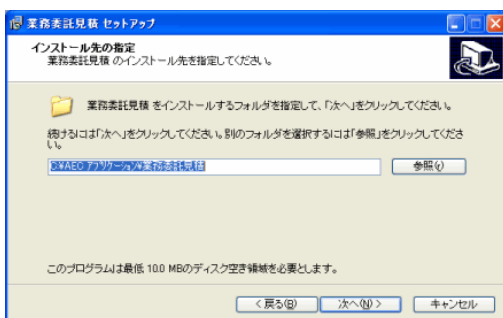
その場合は、先に.NET Framework2.0をインストールする必要がありますので、「[3-3. .NET Framework2.0のインストール](#)」を実施して下さい。



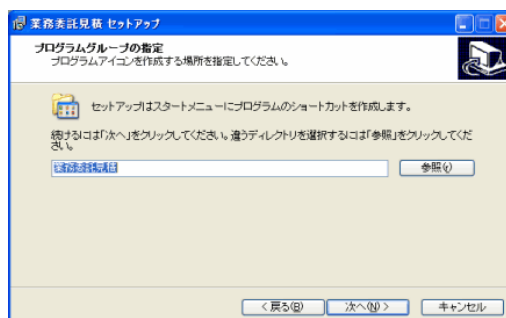
インストール開始の確認画面が表示されます。[次へ]をクリックして下さい。



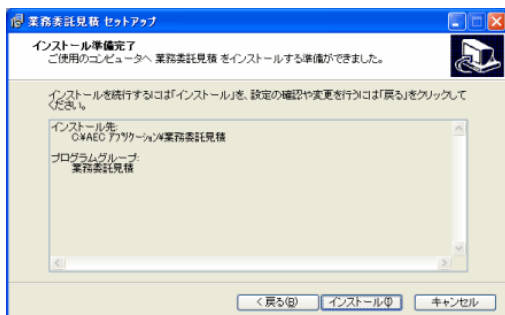
セットアップ情報を収集する旨が表示されます。[次へ]をクリックして下さい。



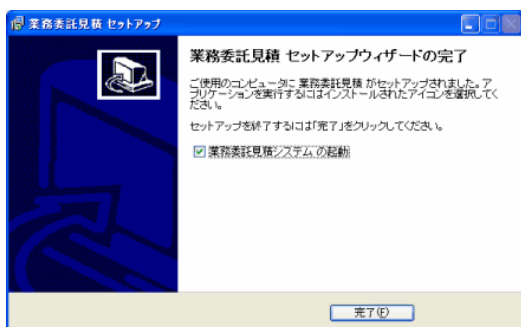
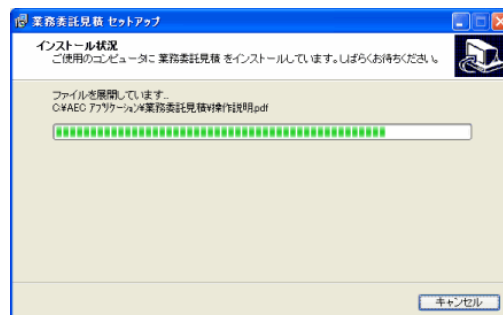
インストールフォルダの指定画面が表示されますので、システムをインストールしたいフォルダを指定して[次へ]をクリックして下さい。



スタートメニューへの登録グループ指定画面が表示されますので、グループ名を指定して[次へ]をクリックして下さい。



「インストール」をクリックして下さい。



「業務委託見積システムの起動」チェックを外し、[完了]をクリックして下さい。

ここまでで、見積りシステム本体のインストールが終了です。続けてシステムで使用するデータファイルのインストールを行います。[「3-2. 業務委託見積システムデータベースのインストール」](#)へ進んで下さい。

### 3-2. 業務委託見積システムデータベースのインストール

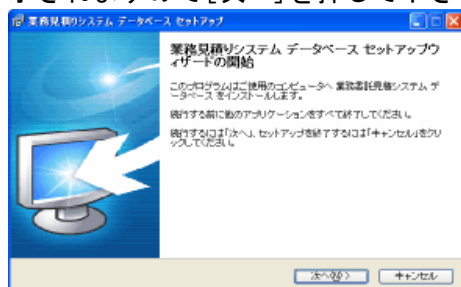


既にご試用版、或いは製品版をご使用中のお客様は、実行されないようお願い致します。誤って実行されますと、今までに作成された見積データが失われます。

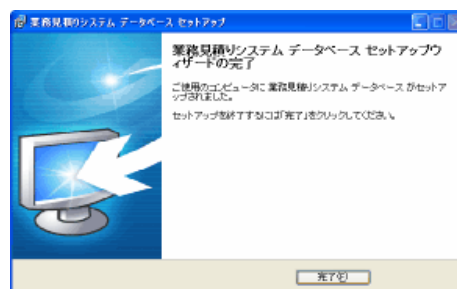
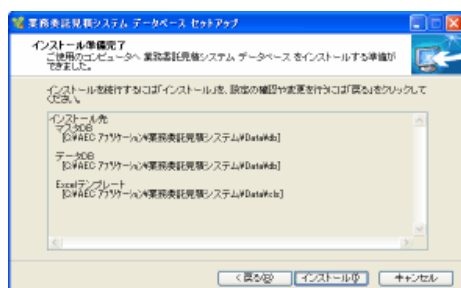


必ず「3-1. 業務委託見積システムのインストール」が実行されたパソコンで行って下さい。

CDメニューから、「マスタDBのインストール」をクリックすると、以下のような開始確認が表示されますので[次へ]を押して下さい。



インストール先の確認が表示されますので、そのまま[インストール]を押して下さい。但し、既にデータがインストールされている場合はその旨のメッセージが表示され、インストールを続行するか確認が行われます。インストールを続行すると次のウィンドウに進みます。



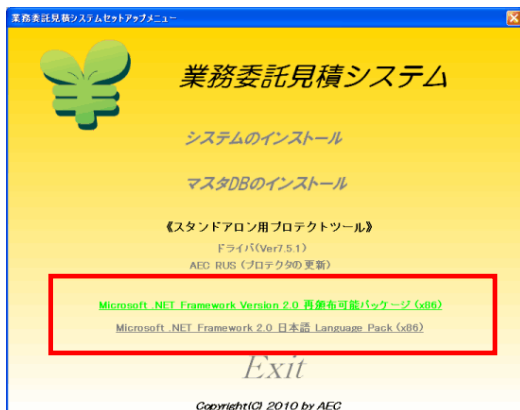
インストールが完了すると、上記の画面になります。[完了]を押して下さい。

以上でインストール作業は完了です。

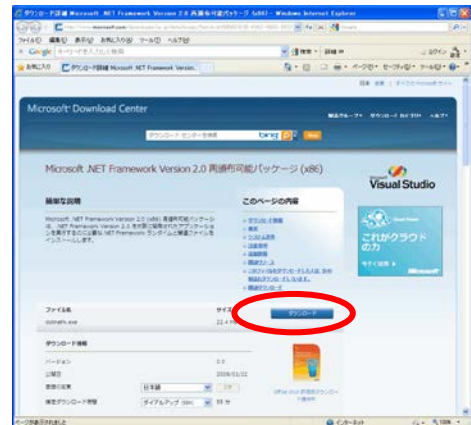
### 3-3. .NET Framework 2.0のインストール

業務委託見積システムを動作させる為にはMicrosoftの.NET Framework2.0が必要となります。パソコンによっては既にインストールされているケースもあります。以下は.NET Framework2.0がインストールされていない場合のみ（「3-1.業務委託見積システムのインストール」が実行できなかった場合）行って下さい。

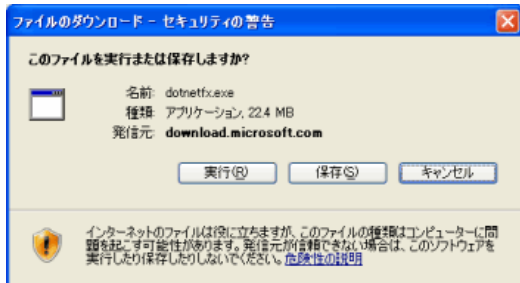
※ .NET Framework 2.0のインストールを行うには、インターネットに接続する必要があります。



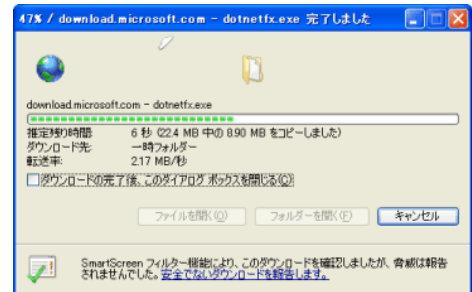
「Microsoft .NET Framework Version 2.0 再頒布可能パッケージ (x86)」をクリックしインストールを行います。



[ダウンロード]をクリックして下さい。



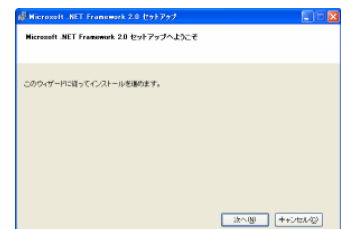
[実行]もしくは[保存]をクリックして下さい。



ダウンロードが実行されます。



前段で[実行]を押した場合はそのままdotnetfx.exeの実行確認がされますので、[実行する]を選択します。[保存]を選んだ場合は、保存した場所からdotnetfx.exeを実行して下さい。



あとは画面の指示に従って、進めて下さい。

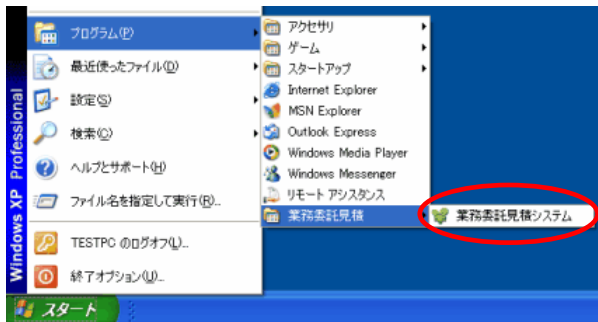
※ 「Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack (x86)」も同様の手順でインス

- インストールして下さい。
- ※ システムをインストールするパソコンがインターネットに接続出来ない場合は、別途「Microsoft .NET Framework Version 2.0 再頒布可能パッケージ」を入手する必要があります。

## 4. ライセンス認証情報の設定

### 4-1. システムの起動

本システムを起動するには、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] - [業務委託見積] - [業務委託見積システム]をクリックして下さい。



### 4-2. ライセンス認証情報の設定

本システムを動作させるためには、認証情報設定を行いライセンスの認識を行う必要があります。ライセンス認証が正しく行われなければシステムを起動することは出来ません。以下の手順で設定を行って下さい。

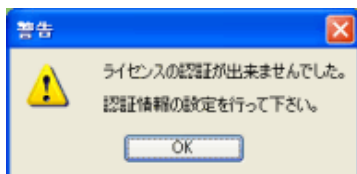


試用版から正式レンタルに移行して頂いたお客様

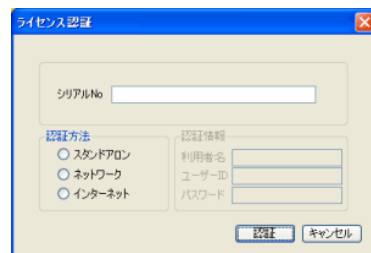
既に試用版をご使用中で更にインタネット認証期間内の場合は、ログイン画面が表示されます。

一度ログインをしてメインメニューの [環境設定] → [ライセンス認証] より、認証情報の設定を行って下さい。

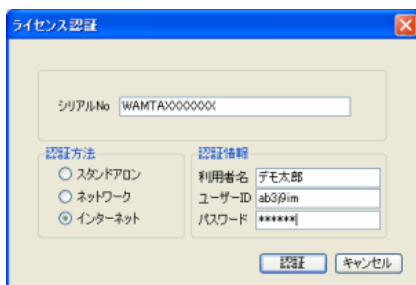
- ① ライセンス認証がされていない初期状態では以下のようなメッセージが表示されるので [OK] を押して下さい。



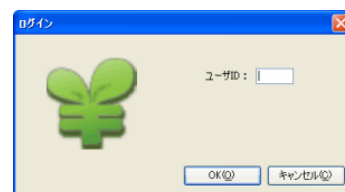
- ② ライセンス認証画面が表示されるのでシリアルNoを指定して下さい。



- ③ 認証方法を選択して下さい。



- ④ 「認証」ボタンをクリックし、認証がされると以下のようなログイン画面が表示されます。



- ハードウェアプロテクタ認証の場合  
→「スタンドアロン」を選択して下さい。

- インターネット認証（試用版）の場合  
→「インターネット」を選択し、以下の認証情報を入力して下さい。

<利用者名>

利用者を識別する任意の文字列（お名前等）を設定して下さい。

<ユーザID>

弊社よりお知らせしているユーザIDを設定して下さい。

<パスワード>

弊社よりお知らせしているパスワードを設定して下さい。



試用版から正式レンタルに移行して頂いたお客様

3. 業務委託見積システムのインストール の処理をしていない場合は、システムの最新バージョン及び歩掛マスタの最新バージョンをご確認下さい。

[システムの最新バージョン確認方法]

システムの自動アップデート機能を使用し、最新のシステムに更新して下さい。

メインメニューの右上 [ヘルプ(H)] → [最新バージョンの確認(U)] より、最新プログラムバージョンの確認を行って下さい。

詳しくは、操作説明書の「6-6-2. 直ちに最新バージョンのチェックを行う」及び「6-6-3. 起動時に最新バージョンの自動チェックを行う」をご参照下さい。

[歩掛マスタの最新バージョン確認方法]

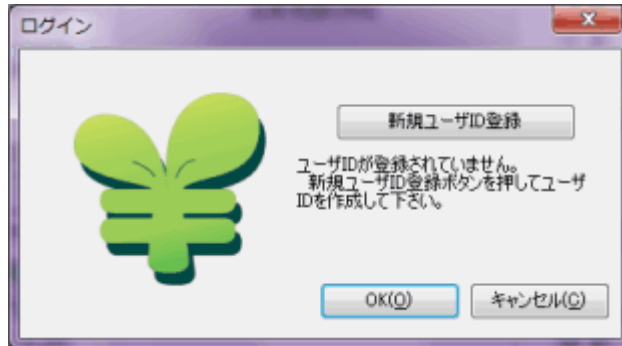
メインメニューの右上 [ヘルプ(H)] → [バージョン情報(A)] より、現在使用中の見積マスタのバージョンを確認して下さい。[更新履歴の確認(R)]より、弊社ホームページにて提供させていただいております歩掛マスタの最新バージョンを確認し、最新のバージョンになるまで読み込み処理をお願いします。

詳しくは、操作説明書の「6-4. 外部入出力機能説明」又は弊社ホームページのサポートページをご覧ください。

## 5. 初期ログイン（新規ユーザID登録）

システムを使用するには、ユーザIDの登録が必要です。システムインストール直後の初期状態ではユーザIDの登録がされていないので、以下の画面のような画面が表示されません。

- ① 「新規ユーザID登録」ボタンを押して下さい。



- ② 「ユーザ情報」登録画面が表示されますので、各項目を入力して[OK]を押して下さい。

### [ユーザID]

ユーザを一意に識別するための5桁のコードです。新規作成時に入力します。修正時は変更出来ません。※省略不可

### [氏名]

ユーザの氏名を入力します。※省略不可

### [よみがな]

読み仮名をひらがなで指定します。

### [分類コード]

当該ユーザを分類するためのグループコード3桁を指定します。※省略不可。見積もりNOに組み込まれます。→（操作説明書「6-2-1. 鏡画面」[見積NO]参照）

### [労務費単価県]

見積書を新規作成する際に、既定値としてセットされる労務単価の県を設定します。当該ユーザIDで見積する際にもっともよく適用する県を登録しておきます。



※ 但し、見積書作成時において、選択した客先情報に労務単価県が設定されている場合は、そちらが優先されます。

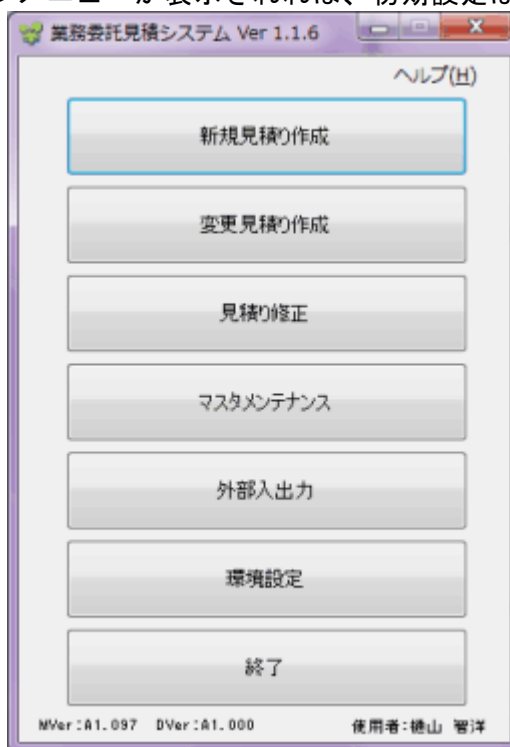
**[備考]**

任意に文字を登録出来ます。

ログインしたユーザIDと分類コードは見積り番号の一部に使用されます。見積書の作成者を特定する意味で重要ですので、必ず個人のIDおよび分類コードを確定後、運用するようにして下さい。



③ 以下のようなメインメニューが表示されれば、初期設定は完了です。



※ 「3. システムの初期設定」の作業は、基本的にインストール後1度行うと次回からは行う必要はありません。